

営業収益は、主力のカード事業、ショッピングクレジット事業、決済事業の収益の安定的な増加とともに、ローン事業における住関連商品の残高の伸長により融資収益も増加し、682億円(前期比4.0%増)。営業費用は、過払利息に係る返還請求に備えた利息返還損失引当金を積み増したことや、トップラインの伸長に伴う貸倒引当金繰入額の増加などにより、625億円(同3.6%増)。この結果、経常利益は60億円(同17.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は53億円(同29.9%増)。

1. 要約損益計算書

(単位:億円)		FY2014			FY2015			FY2015業績予想*		FY2016
				前期比			前期比	通期	予想比	業績予想
営業収益	1	656	682	4.0%	686	99.5%			700	
営業費用	2	603	625	3.6%						
販売費及び一般管理費	3	580	601	3.5%						
人件費・物件費等	4	472	483	2.4%						
クレジットコスト	5	108	117	8.2%						
貸倒引当金繰入額	6	67	90	33.0%						
利息返還損失引当金繰入額	7	40	27	-33.4%						
金融費用	8	23	24	6.8%						
営業利益	9	52	56	7.8%	97	58.3%			100	
経常利益	10	50	60	17.8%	97	61.9%			100	
親会社株主に帰属する当期純利益	11	40	53	29.9%	80	66.3%			90	

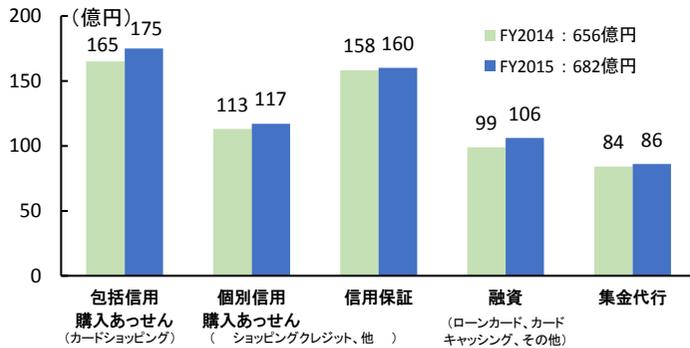
\*2015年5月12日公表。2016年5月9日業績予想を修正。

<アプラスグループ 各事業のトピックス>

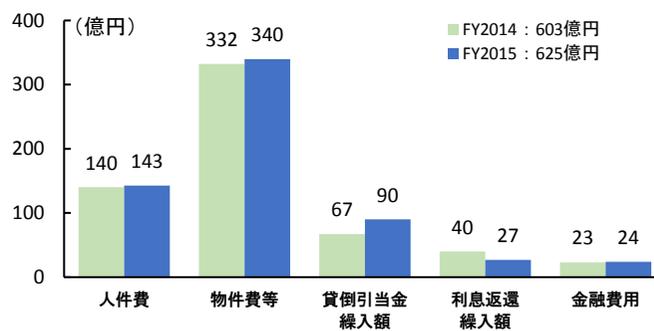
- ・アプラスグループ中期経営計画(2016年度~2018年度)中長期ビジョン「グループの融合により革新的金融サービスを提供し、リッチなオペレーションと卓越した生産性・効率性を実現する」(カード事業)
  - ・新生銀行グループの新規事業として、海外専用の「海外プリペイドカード GAICA(ガイカ)」の発行開始
  - ・スマートフォンサービス「TONE」お客さま対象「Tカード プラス(TONE x TSUTAYA発行)」の発行開始
- (ショッピングクレジット事業)
  - ・「アプラスeオーダー」の利用可能な加盟店網の拡大
  - ・「Tポイント付きショッピングクレジット」によりお客さまへ直接働きかける仕組みを強化
  - ・営業拠点の新規出店(鹿児島支店)
- (決済事業)
  - ・賃貸管理会社などの家賃回収をサポートする「家賃サービス」の堅調な伸び
- (ローン事業)
  - ・住宅購入の際の諸費用等を対象としたローン商品「マイホームプラン」などの残高の着実な伸長
  - ・賃貸住宅入居時の費用等を資金用途とするローン商品「レンタルハウスプラン」の取扱い開始

2. 部門別営業収益

※グラフには金融・その他収益を含まない

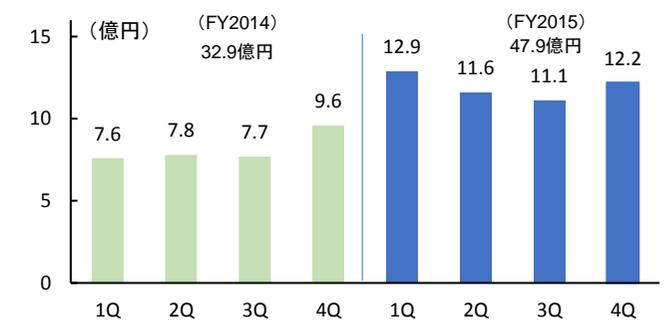


3. 営業費用内訳



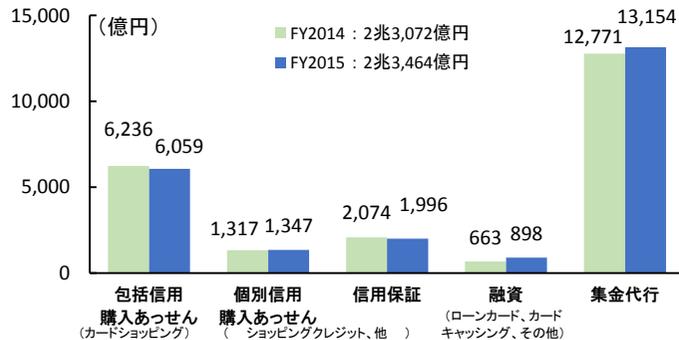
4. 利息返還実績四半期推移

※FY2014\_4Q以降のグラフには吸収合併した新生カードの実績を含む



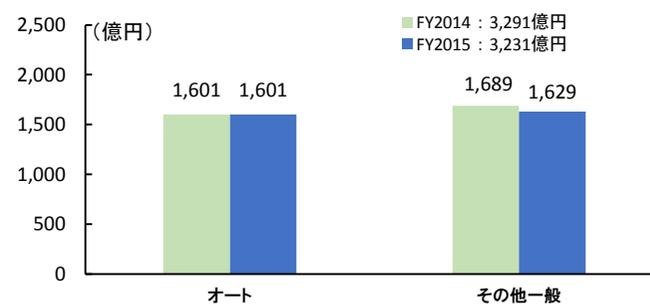
5. 部門別取扱高

※グラフにはリース・その他取扱高を含まない



6. ショッピングクレジット取扱高内訳

※「個別信用購入あっせん」と「信用保証」の一部



7. 融資取扱高内訳

